

日本共産党

# つくば市議団ニュース

2023年7月12日

NO・7

発行:日本共産党つくば市議団  
住所:つくば市上ノ室 363-7  
TEL:029-863-0045  
FAX:029-863-0028  
MAIL:tsukuba.jcp@nifty.com



橋本佳子市議

## ◆高齢者の補聴器購入補助、

### 早期実現を！！

「加齢性難聴者の補聴器購入費補助を求める」請願は、令和3年9月議会で趣旨採択されました。

市長は、補助制度の必要性を認めながらも、「国の動向をみたい」と答弁(令和4年3月議会)。県内でも全国でも補助制度は広がっています。(土浦市:今年4月実施)

板橋区は、修理費用も対応、千代田区は5万円を限度に購入費の9割補助、港区は60歳以上で所得制限なしで助成額の上限が13万7千円です。補聴器は、加齢により聞こえにくくなった高齢者の日常生活に欠かせません。専門家も認知症を誘発すると警鐘を鳴らしています。

橋本市議は、まずは市が行うべきと再度質問しました。

## ▼「実施に向け、検討している」、市長答弁

全国市長会も創設を要望していることから、本来国が進めるべきものと考えますが、高齢者の社会参加・介護予防にとって必要な制度であり早期に取り組むべき課題と考え実施に向け検討しているところです。

## ◆「地区相談センター」は廃止し、 相談事業を地域交流センターに移行

市民部から教育局に生涯学習課を映し、社会力をテーマに生涯学習課が事業を進めてきました。その拠点となる施設が地域交流センターです。

各地域交流センターは、日常的に市民団体とのつながりもあり、様々な事業にかかわっています。これに加えて、相談業務と多世代が利用できるフリースペースを確保することにしたのです。特に相談業務は、これまでの事業外のこと。職員の負担で従来事業がおろそかになっては困ります。人数が少ない部署で病休など長期の欠員が出た場合も体制をとることが困難となります。この点の現状と課題について質問。

## ▼総務部長答弁

病休が出ているセンターでは、職員が大変になっていることもあり、会計年度職員を配置し業務に支障がないよう対応しています。相談業務は、道路補修や草刈り・不法投棄など生活全般の相談が増えています。今後は現場状況を見ながら、適切な人員配置を行います。



## ◆部活動の地域移行

多忙を極める教師の労働時間の改善へ、働き方改革が進められています。部活動は、土日の出勤もあり、教師に重い負担となっています。また、生徒の減少により継続が困難になる部活動も出ています。

谷田部東中学校は、21年度に国補助を活用してモデル的に地域の総合型地域スポーツクラブと連携して地域部活動を実施しました。

教員の過密労働解消のためにも対策が必要です。しかし、生徒がお金の心配をせずに部活動ができるという環境が大切です。スポーツクラブ等に依拠し地域移行をした部活動での保護者や生徒の評価、市が検討している部活動の補助制度について質問しました。

## ▼教育局事務局長、

様々な形態を活用し地域移行した学校の部活動があります。生徒はおおむね満足しているという評価です。保護者は指導者の確保や安定的な運営に課題があると答えています。

困窮世帯に対する補助制度は、経済状況によって参加の意思がありながら参加できないということがないように要保護・準要保護の家庭への補助制度創設を考えています。国の意向もあり、年間2万2千円位の補助をと考えています。

